



特別展 富山の浮世絵—売薬版面画

令和6年

10月5日(土)▼11月17日(日)

【前期】10月5日(土)～12月27日(日)
【後期】10月29日(火)～11月17日(日)

※前期、後期で展示作品を入れ替えます。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 大人400円(320円)、高校生以下は無料
主催 富山市・富山市教育委員会

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
富山市郷土博物館



写真上より「福神小判施行」(日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵)、「市川翠郎」(尾上梅幸の天満やおはつ(東宝薬品株)蔵)、「東見立美男伝」(個人蔵)、「東海道五拾三次之内」(吉原・富山市先薬料館蔵)、「西郷隆盛」(村田新八蔵)、「東京大角力」(梅ヶ谷・常陸山蔵)、「当館蔵」

特別展

富山の浮世絵―売薬版画

富山は江戸時代以来、売薬業が盛んな土地です。この売薬業の関連産業として、浮世絵版画の出版が行われていました。

江戸時代の後期、富山の売薬人は得意先へ進物を配るようになり、最初に登場した進物が浮世絵版画Ⅱ売薬版画でした。全国の得意先へ配ることから大量に出版されており、富山はまさに江戸、上方に次ぐ「浮世絵版画の町」だったのです。そして、大量に出版された売薬版画は、全国の浮世絵人氣のすそ野を広げる役割を果たしたともいえるでしょう。

本展ではまず、売薬版画が始まった江戸時代後期の天保年間（一八三〇～四四）から、最盛期を迎えた明治二十年代、そして終焉を迎えた大正時代末期までの、約百年にわたる歴史を通観します。次に役者絵、名所絵、福神絵など画題別の変遷とともに、江戸時代や明治時代の人々が収集した売薬版画のコレクションを見ることが、売薬版画が当時の人々に与えた影響について確認します。これらを通して、富山の浮世絵「売薬版画」の全貌をご覧くださいと思います。



楊州周延画「時代かゝみ、弘化のころ」
（個人蔵）：後期展示



尾竹国一画「勧進帳」
（富山市売薬資料館蔵）：前期展示



松浦守美画「沢村長十郎の半兵衛、尾上梅幸の
小いな」（東亜薬品館蔵）：前期展示



有楽斎長秀画「福神金の取入」
（日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵）：後期展示

会 期 令和6年10月5日（土）～11月17日（日）

【前期】10月5日（土）～27日（日）

【後期】10月29日（火）～11月17日（日）

※前期、後期で展示作品を入れ替えます。

休 館 日 10月28日（月）

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

観覧料 大人400円（320円） 高校生以下は無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※この料金で、常設展示もご覧いただけます。

常設展 富山城ものがたり

展示室では、400年以上の歴史を持つ富山城の歴史を、模型や映像も使いながら、分かりやすく紹介しています。また、4階の天守展望台からは、昔の富山城の大きさが分かります。

【展示をより楽しむための特別公開講座】

演 題 「薬都富山と浮世絵―売薬版画について」

講 師 坂森幹浩（当館館長）

日 時 10月20日（日）午後2時～3時30分

会 場 富山市民プラザ 3階AVスタジオ（富山市大手町）

定 員 先着80名（事前申込不要、先着順）

参加費 無料

【担当学芸員による展示解説会】

日 時 10月13日（日）、11月9日（土）、

11月17日（日） 各日 午後2時より

申込不要・参加無料（本展の観覧券が必要です）

■アクセス

JR富山駅から徒歩約10分

地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分

市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分

富山空港より連絡バスで20分

北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM

〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内

TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060

<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>